

新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目接種）の状況等について

現状

- 2回目接種完了から6か月以上経過する12歳以上の人を対象に、月2回、接種券を発送 ※6か月以上の扱いは5月24日まで
- 5月16日(月)には、約3万人に発送（令和3年11月1日～15日に2回目を接種した人）
- 接種券送付済人数 **51.5万人（5月16日時点）**
- 追加接種（3回目接種）の完了人数 **36.3万人（5月17日時点）**
- 接種率… **70.5%**（接種券の送付済人数対比） **51.4%**（市内全人口対比）
- うち、高齢者（65歳以上）の接種率
 - ・ **94.1%**（市内65歳以上接種券の送付済人数対比） **84.8%**（市内65歳以上人口対比）
- うち、40歳代・30歳代・20歳代の接種率
 - ・40歳代の接種率… **59.8%**（市内40歳代接種券の送付済人数対比） **48.5%**（市内40歳代人口対比）
 - ・30歳代の接種率… **48.3%**（市内30歳代接種券の送付済人数対比） **35.4%**（市内30歳代人口対比）
 - ・20歳代の接種率… **47.0%**（市内20歳代接種券の送付済人数対比） **33.8%**（市内20歳代人口対比）

新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目接種）の接種間隔の短縮について

接種間隔及び接種券発行時期

【5月25日以降】
 （変更前）2回目接種完了から6か月以上 ⇒ （変更後）2回目接種完了から5か月以上

2回目接種	3回目接種券送付時期	送付数	2回目接種	3回目接種券送付時期	送付数
令和3年11月16日～30日	令和4年5月31日(火)	1.2万人	令和3年11月16日～30日	令和4年5月31日(火)	1.9万人
令和3年12月1日～15日	令和4年6月15日(水)	0.4万人	令和3年12月1日～15日	令和4年5月31日(火)	
令和3年12月16日～31日	令和4年6月30日(木)	0.3万人	令和3年12月16日～31日		

これ以降も、上記ルールに沿ったスケジュールで月2回順次発送

新型コロナウイルスワクチンの追加接種（4回目接種）の接種対象者等について

目的

新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化予防を目的として、追加接種（4回目）を行う

接種開始時期・対象者・使用するワクチン

令和4年5月25日を接種開始日とし、3回目接種の完了から5か月以上が経過した

- ①60歳以上の者
- ②18歳以上60歳未満の者のうち、基礎疾患を有する者 ※基礎疾患を有する者の範囲については資料10ページ参照
- ③18歳以上60歳未満の者のうち、新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化リスクが高いと医師が認める者を対象に、ファイザー社ワクチン及び武田／モデルナ社ワクチンを使用し1回追加接種を行う

接種場所

4回目接種も3回目接種と同体制で接種を開始

- ①身近なかかりつけ医等での個別接種体制を維持：約400市内医療機関
- ②かかりつけ医等がない方等に対し、補完的にアクセスのよい市内中心部で集団接種会場を維持

対象者等のお知らせや接種券の発送時期

○接種券の発送は、5月25日以降順次、3回目接種の完了から5か月経過した18歳以上の者に送付

- ※18歳以上60歳未満の方で、基礎疾患のある方等は、かかりつけ医等と相談のうえ接種を検討
- ※現時点で接種の対象でない方も、今後、接種の対象となる場合があるため、接種券の保管が必要

3回目接種時期	4回目接種券送付時期	60歳以上	18歳～59歳	3回目接種時期	4回目接種券送付時期	60歳以上	18歳～59歳
令和3年12月25日まで (先行送付) 60歳以上のみ	令和4年5月25日(水)	0.1万人	-	令和4年2月1日～15日	令和4年7月15日(金)	5.8万人	0.9万人
令和3年12月31日まで ※60歳以上は12月26日～31日	令和4年5月31日(火)	0.03万人	0.7万人	令和4年2月16日～28日	令和4年7月29日(金)	4.5万人	1.7万人
令和4年1月1日～15日	令和4年6月15日(水)	0.2万人	0.5万人	令和4年3月1日～15日	令和4年8月15日(月)	3.0万人	2.5万人
令和4年1月16日～31日	令和4年6月30日(木)	4.0万人	1.3万人	令和4年3月16日～31日	令和4年8月31日(水)	1.3万人	2.6万人
				令和4年4月1日～15日	令和4年9月15日(木)	0.6万人	2.1万人

これ以降も、上記ルールに沿ったスケジュールで月2回順次発送

○接種対象者等の概要については、市ホームページや公式SNSによる周知に加え、全戸配布リーフレットによりお知らせを行う

新型コロナウイルスワクチン接種数（3回目実績）について

新型コロナウイルスワクチン接種数（3回目実績）について

令和4年5月17日時点入力済み数値（保健管理課集計）

区分	①対象者数 (人口)	②対象者数 (接種券送付済者)	③3回目接種回数	対人口進捗率 = ③/①	対接種券送付者進捗率 = ③/②
【高齢者】 65歳以上	195,000人	175,831人	165,378人	84.8%	94.1%
60歳以上65歳未満	39,000人	34,835人	30,084人	77.1%	86.4%
50歳以上60歳未満	93,000人	77,830人	56,595人	60.9%	72.7%
40歳以上50歳未満	101,000人	81,916人	48,976人	48.5%	59.8%
30歳以上40歳未満	81,000人	59,291人	28,664人	35.4%	48.3%
20歳以上30歳未満	77,000人	55,426人	26,048人	33.8%	47.0%
12歳以上20歳未満	53,000人	29,995人	7,257人	13.7%	24.2%
合計	639,000人	515,124人	363,002人	56.8%	70.5%
【12歳未満を含む全人口に対する接種率】	706,000人	-	363,002人	51.4%	-

1 接種回数数はワクチン接種記録システム（VRS）のデータによる
 2 対象者数はR3.4.1時点の住民人口、年齢区分はR4.4.1時点の年齢による。なお、対象外の12歳未満は67,000人
 3 12歳以上20歳未満の欄の①対象者数（人口）53,000人には、1・2回目接種対象者の12歳以上18歳未満も含んでいる。

1. 以下の病気や状態の方で、通院／入院している方

- ・慢性の呼吸器の病気
- ・慢性の心臓病（高血圧を含む。）
- ・慢性の腎臓病
- ・慢性の肝臓病（肝硬変等）
- ・インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
- ・血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く。）
- ・免疫の機能が低下する病気（治療や緩和ケアを受けている悪性腫瘍を含む。）
- ・ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
- ・免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
- ・神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等）
- ・染色体異常
- ・重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態）
- ・睡眠時無呼吸症候群
- ・重い精神疾患（精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している（※）又は自立支援医療（精神通院医療）で「重度かつ継続」に該当する場合）や知的障害（療育手帳を所持している（※）場合）
- （※）精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳を所持している方については、通院又は入院をしていない場合も、基礎疾患を有する方に該当します。

2. 基準（BMI 30以上）を満たす肥満の方

BMIとは、肥満度を表す指標として国際的に用いられている体格指数で、[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で求められます。（身長はcmではなくmで計算します。）

※BMI 30の目安：身長170cmで体重87kg、身長160cmで体重77kg

○医療従事者を対象とした新型コロナウイルスワクチン（ファイザー社 コミナティ筋注）3回目接種後副反応調査最終報告
（岡山大学 疫学・衛生学分野作成）から抜粋

【新型コロナウイルスワクチン（ファイザー社 コミナティ筋注） 3回目接種後副反応調査まとめ】

・5施設のべ2176名が新型コロナウイルスワクチン接種後副反応調査に回答（回答率は約32%）

・**3回目接種では2回目とほぼ同程度の全身副反応出現割合であった**

・年齢が若いほど、発熱の出現頻度が高かった（30歳未満53.6% vs 60歳以上20.9%）

・基礎疾患があると発熱出現頻度は減少、一方でアレルギー歴があるとやや増加していた

・2回目接種と比較すると、副反応が重いと感じる方が39.1%いた一方で、軽いと感じた人も36.5%いた

・71.4%(ワクチン種類を考慮すれば約80%)が身近な人に3回目接種を勧めると回答した

○武田/モデルナ社製新型コロナウイルスワクチン追加接種（3回目接種）後副反応調査中間報告
（岡山大学 疫学・衛生学分野作成）から抜粋

【武田/モデルナワクチン3回目接種後副反応調査中間報告まとめ】

・初回の2回分を武田/モデルナ社製ワクチンで接種した後、同ワクチンで岡山大学拠点接種にて3回目追加接種を受けた
1256名より、新型コロナウイルスワクチン接種後副反応調査の回答を得た（回答割合 約34%）

・2回目接種と比較し、局所反応・全身反応とも副反応出現割合は減少していた

・副反応は接種翌日まで続いた割合が最も高く、接種3日目以降まで持続する割合は低かった

・年代別の回答者数の多寡により影響を受けているが、年齢が若いほど、発熱の出現頻度が高かった

・**2回目接種と比較して副反応が軽いと感じた方が、約6割を占めた**

・ほとんどが自発的に3回目接種を受けており、過半数を超える人が身近な人にも接種を勧めると回答した